

## 【56用語】

近来（きんらい）…近ごろ、この頃

葉巻虫（はまきむし）…植物の葉を巻いてその中にすみ、これを食害する昆虫の総称

喰害（しよくがい）…蝕害、害虫が植物を食い荒らすこと

患害（かんがい）…憂うべき害、煩わしい害

思料（しりよう）…思いはかること、考えること

## 【56解説】

明治二十二年（一八八九）四月の町村制施行により、西群馬郡の北牧・吹屋・白井・横堀の四か村が合併して誕生したのが群馬郡長尾村である。本文書は、第十一代村長鴻田由造から管下吹屋村の小澤惣代長へあてた葉巻虫の駆除に関する通知である。葉巻虫とは、四月から十一月に四、五回発生し、植物の葉を巻いてその中に棲み、葉や芽を食い荒らす幼虫の総称である。この時、吹屋村では稲の葉に大量発生したため早急に駆除するよう指示された。

なお、長尾村ではその後も度々害虫が発生したためか、明治四十一年六月には郡役所の指導で、灯油を利用した螟蛾点火誘殺設備による「稲作害虫駆除予防及監督方法」が定められ、六月十五日には鴻田村長から長尾村農会役員及び惣代長へその実施を依頼している。